

敦賀市立看護大学

地域・在宅ケア研究センター活動報告

令和2年度

地域・在宅ケア研究センター



はじめに

地域・在宅ケア研究センターの役割は、地域の人々の健康を守り、安心して暮らせることを目指した教育や研究ができるように、地域と大学の架け橋となることです。地域に根差し、現場に学び、地域に開かれた教育研究活動を開始して、本年で7年目を迎えました。その活動を毎年まとめております。

ところが、令和2年1月に新型コロナウイルス感染症が確認され、令和元年度の活動であった看護大学健康講座や看護研究入門講座が一部中止となりました。この状況を踏まえ、人々の健康を願って令和2年度の看護大学健康講座は「日常生活の工夫で免疫力を高めよう」というテーマを設定し、4回の講座を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の収束は見込めず実施できませんでした。

研究支援活動として、地域の看護職を対象に看護研究入門講座や研究サポートを計画していましたが、看護研究入門講座は実施できませんでした。講座への参加申し込みをいただいていたのに実施できず残念です。

また、看護や地域医療保健福祉の質の向上に資することを目的として第4回研究報告会を計画していましたが、これも開催できませんでした。

3密を避け、新型コロナウイルス感染症予防をするために様々な行事は実施できませんでしたが、「手洗いの講習会」や「新型コロナウイルス感染予防」、「ストレス対策」などの講演依頼が地域からあり、対応させていただきました。わずかではありましたが、地域の人々との交流ができました。

以上のように、ほとんどの活動が実施できませんでしたが、どのように考え、どのような計画をしたのか記録として残し、次年度につなげたいと考え令和2年度の活動報告書を作成しました。活動内容に対する皆様のご意見やご助言をいただき、今後活かしていきたいと思っております。

令和3年3月
地域・在宅ケア研究センター長
畑野 相子

目 次

はじめに

I. 地域・在宅ケア研究センターの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. 研究センター設置の目的
2. 研究センターの事業
3. 組織構成

II. 教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1. 看護研究方法論講座
 - 1) 令和2年度看護研究方法論講座《入門講座》
 - 2) 令和2年度看護研究方法論講座《研究サポート事業》
2. 看護大学健康講座
 - 1) 令和2年度看護大学健康講座事業
 - 2) 看護大学健康講座まとめ
3. 出張講演

III. 研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1

1. 研究報告会
2. 敦賀市民の健康に関する情報収集

IV. 地域活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3

1. 敦賀市への事業協力
2. 美浜町への事業協力
3. ボランティア等への参加
4. 地域行事等への参加

添付資料

- 資料1 看護方法研究論講座 実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6
- 資料2 敦賀市立看護大学研究報告会 実施要項・・・・・・・・・・・・ 1 7

I. 地域・在宅ケア研究センターの概要

1. 研究センター設置の目的

地域・在宅ケア研究センター（以下「研究センター」という。）は、公立大学法人敦賀市立看護大学の使命の一つとして、地域の人々の健康を守り安心して暮らせることを目指した活動の拠点として設立されました。

地域に根差し、現場に学び、地域に開かれた教育研究をすすめるという看護学の特色の具体化に向けて、地域における看護職や医療保健福祉機関等との交流・連携を深めます。

また、地域における看護課題とその解決方法を探求し、大学における学術研究を一層充実させると共に、看護職の資質の向上に寄与します。

2. 研究センターの事業

研究センターの事業は地域住民の健康づくり、在宅支援などによる地域貢献、学生の学習活動と地域との連携や看護職の看護実践能力・研究能力支援のための教育、地域の健康評価における健康ニーズ調査などの研究を行います。教育、研究、地域貢献の事業内容は図1に示しました。

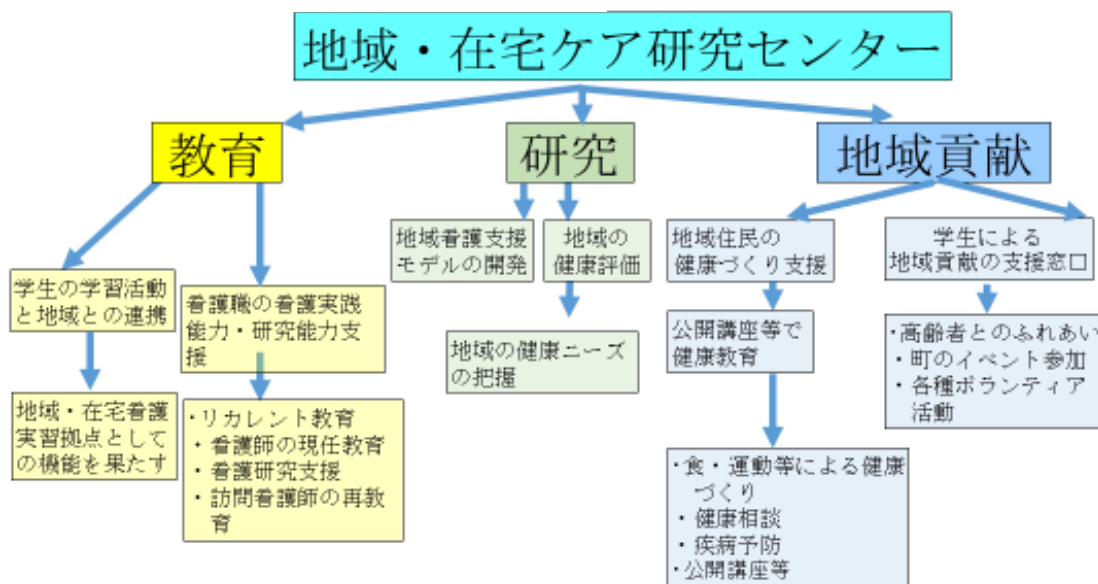


図1 地域・在宅ケア研究センターの事業内容

3. 組織構成

地域・在宅ケア研究センターの位置付けを図2に示しました。大学に直接附属する機関であり、メンバーは教職員全員です。

公立大学法人敦賀市立看護大学組織図

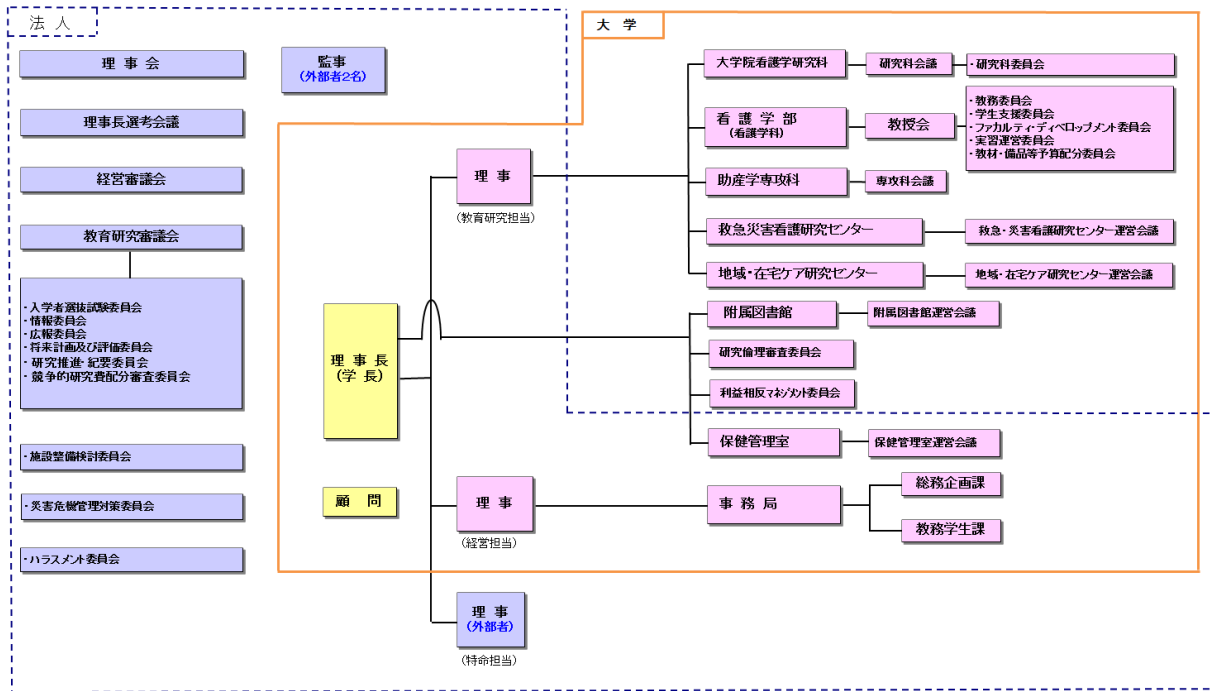


図2 地域・在宅ケア研究センターの組織構成

II. 教育

1. 看護研究方法論講座

令和2年度の看護研究方法論講座は、下記の要項に基づいて入門講座と研究サポートを行っています。

看護研究方法論講座 実施要領

1. 目的

- 1)臨床現場における看護研究の推進をはかり、科学的思考の基で看護ケアが創造できる能力を身に付けることを目指す。
- 2)看護研究の成果を当該施設内外で発表することにより看護を探究する姿勢を高めることを目指す。
- 3)研究発表を通して、それぞれの施設の研究課題や看護活動を相互に理解することを目指す。
- 4)大学と当該施設の良い関係を構築し、当該施設における医療・看護が円滑に行えることを目指す。

2. 対象者

敦賀市、美浜町及び嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者とする。受け入れ可能な研究指導件数は、個人・グループ等で20件程度とする。

3. 研究の進め方

- 1)大学において看護研究方法の講義・演習を行う。
- 2)本学教員による研究の個人又はグループで指導を希望する者は、研究テーマを決定し、4月末までに研究指導申込書を用いて本学に提出する。研究テーマ決定にあたっては相談に応じる。
- 3)研究テーマに合わせて担当教員を決定する。
- 4)担当教員決定後は、原則として共同研究者（本学の倫理審査を受ける権利の保証）として研究を進める。
- 5)研究発表会や学会、論文等で発表することを目指す。

1) 看護研究方法論入門講座

令和2年度の看護研究方法論講座《入門講座》を表Ⅱ-1の通り企画して関係機関に周知しましたが、新型コロナウイルス感染症等の関係において中止しました（チラシは6・7頁）。受講申込者5名(医療機関3名、健康福祉センター1名、訪問看護ステーション1名)には、希望に応じて個別で対応しました。なお、これまでの受講者数は表Ⅱ-2に示す通りです。

表Ⅱ-1 令和2年度看護研究方法論講座《入門講座》概要

日時		内容	担当
第1日目 (2月6日)	13:00~13:10(10分)	1. オリエンテーション① 本講座のねらい、目標について	畑野 相子
	13:10~14:00(50分)	2. 看護研究の概要と研究課題について	交野 好子
	14:10~15:10(60分)	3. 文献検索の方法	住本 和博
	15:20~16:20(60分)	4. 文献のクリティーク	池原 弘展
第2日目 (2月13日)	13:00~14:20(80分)	1. 研究の種類：量的研究	喜多 義邦
	14:30~15:50(80分)	2. 研究の種類：質的研究	前川 直美
	15:50~16:20(30分)	3. オリエンテーション② 研究計画書作成に向けて	畑野 相子
第3日目 (3月6日)	13:00~14:00(60分)	1. 研究の倫理と倫理審査	北村 隆子
	14:00~14:10(10分)	2. 今後の進め方について	運営委員 (畑野相子、家根明子、 前川直美、鈴木隆史、 中堀 伸枝、他)
	14:20~(120分程度)	3. 研究計画書の作成に向けて (グループワーク・個別相談)	

表Ⅱ-2 看護研究方法論講座《入門講座》受講者数の推移

開催年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1*)	2020 (R2**)	備考
講座開催日数	3日	3日	3日	3日	3日	2日	3日	新型コロナウイルス感染症等 にてR1年度は1日中 止、R2年度は全て中 止とした。
延受講者(人) (R2は申込者数)	138	56	56	40	79	28	5	

2) 看護研究サポート

昨年度の看護研究方法論講座《入門講座》受講者から表Ⅱ-3の通り研究指導の申込があり研究サポートを行いました。これまでの研究サポート実績は表Ⅱ-4示す通りです。

表Ⅱ-3 令和2年度看護研究方法論講座《研究サポート》の実績

No	テーマ	施設名	研究者名	担当
1	長期臥床患者へのリラクゼーション ～アロマ蒸しタオルでのアプローチを試みて～	レイクヒルズ 美方病院	柄本 麻由美 高橋 恭子 山中 美紀子 柄本 有喜江	前川 直美

表Ⅱ-4 看護研究方法論講座《研究サポート》実績の推移

開催年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
件数		8件	9件	10件	8件	6件	1件

3) まとめ

今年度は、入門講座は中止となりましたが、昨年度と同様に対象を嶺南地域まで拡大するとともに、周知時期を早めて受講者数の増加を図りました。しかし、受講申込者および研究サポート申込者はこれまでと比較して少ない結果となりました。この背景に新型コロナウイルス感染症等との関係が予測されます。このため今後は受講方法の工夫などに検討が必要と思われまます。



令和二年度 研究を行い看護ケアを開発してみませんか！

看護研究方法論講座 入門講座

国民のニーズの多様化や医療等を取り巻く環境の変化、地域包括ケアシステム推進の観点から看護職者の役割は増大しています。

このため、看護の充実と発展のために看護ケアの開発や効果の検証、看護業務の改善につながる研究が必要です。

看護研究方法論講座は、敦賀市立看護大学が嶺南地域の看護職者の方の研究を推進・支援することを目的に開催しています。この講座は「入門講座」と「研究指導」の二本立てになっており、下記の入門講座を受講された方が研究を実施される場合は、ご希望により研究指導を行っております。

入門講座終了後の流れは、裏面をご確認ください。

※受講対象者は、嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者の方です
(これ以外の方はお問い合わせください)

◆看護研究入門講座の目的

1. 科学的思考を基に、臨床現場で看護研究ができる基礎的知識を身に付けることができる。
2. 研究計画書を作成することができる。

◆入門講座申込方法

ご所属の施設を通してお申し込みください。※1日単位の受講も可

問い合わせ先
敦賀市立看護大学
総務企画課
電話 0770-20-5500
FAX 0770-20-5548

◆入門講座スケジュール ※受講料・指導料は無料 会場は、敦賀市立看護大学(敦賀市木崎78-2-1)

		内容
第1日目 令和3年 2月6日(土)	13:00-13:10(10分)	1.オリエンテーション① 本講座のねらい、目標
	13:10-14:00(50分)	2.看護研究の概要と研究課題について
	14:10-15:10(60分)	3.文献検索の方法
	15:20-16:20(60分)	4.文献のクリティーク
第2日目 令和3年 2月13日(土)	13:00-14:20(80分)	1.研究の種類:量的研究
	14:30-15:50(80分)	2.研究の種類:質的研究
	15:50-16:20(30分)	3.オリエンテーション② 研究計画書の作成に向けて
第3日目 令和3年 3月6日(土)	13:00-14:00(60分)	1.研究の倫理と倫理審査
	14:00-14:10(10分)	2.今後の進め方について
	14:20-(120分程度)	3.研究計画書の作成に向けて (グループワーク・個別相談)

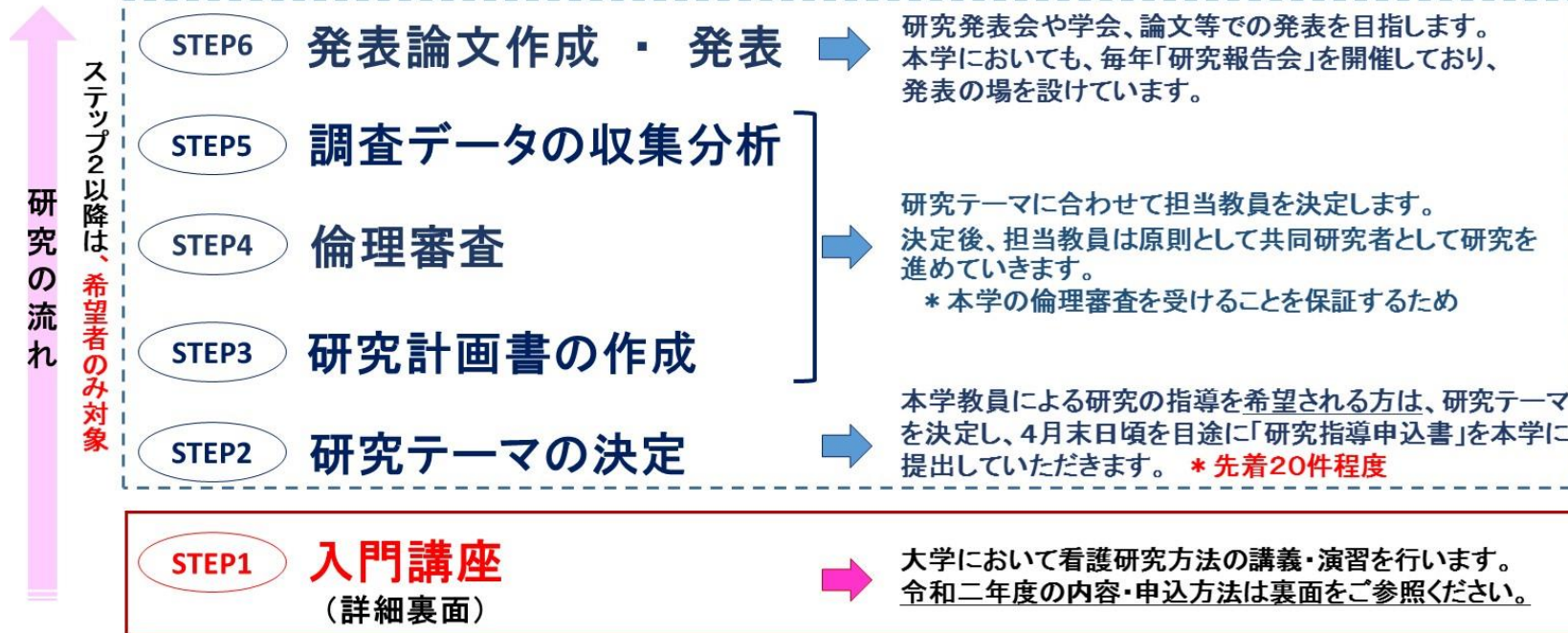


研究を行い看護ケアを開発してみませんか！

敦賀市立看護大学 看護研究方法論講座 全体概要

※受講対象者：敦賀市、美浜町及び嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者の方です
(これ以外の方はお問い合わせください。)

本学では、看護の充実と発展に寄与するため、嶺南地域の看護職者の方の研究を推進・支援することを目的に「看護研究方法論講座」を開催しています。
ご希望により研究指導(STEP2以降)も行っています。



受講料・指導料：無料 会場は、講座・研究指導共に敦賀市立看護大学

問い合わせ先：敦賀市立看護大学総務企画課 電話0770-20-5500

2. 看護大学健康講座

看護大学健康講座事業の概要

地域住民の健康づくりを支援するとともに、地域に開かれた大学として住民が気軽に集い、交流する場を提供することを目的に、平成27年度3月から「看護大学喫茶」を開始してきました。平成30年度からは、講演をメインにした内容として、名称を「看護大学健康講座」として実施しています。内容は、教員の専門性を活かした講演、住民が自身の健康状態を知り、継続的に健康づくりに取り組める契機となるような健康チェック(体力測定)・健康相談です。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延を考慮して「日常生活の工夫で、免疫力を高めよう」をテーマに、企画しました。

1) 看護大学健康講座の開催計画と実施

令和2年度は、4回の講座を計画しましたが、すべて新型コロナウイルス感染症蔓延のため中止しました。概要は表Ⅱ-5に示すとおりです。

表Ⅱ-5 令和2年度看護大学健康講座の概要

開催日時		場所	内 容
第1回	7月	本学	① 講演「笑いと健康」 畑野 相子 教授 ② 健康チェック (体力測定) ③健康相談
第2回	9月	本学	① 講演「笑いは心と体の栄養素」 畑野 相子 教授 ② 健康チェック (体力測定) ③健康相談
第3回	10月	本学	① 体験コーナー 「心肺蘇生法の体験」 河合 正成 講師 ② 健康チェック (体力測定) ③健康相談
第4回	3月	本学	① 講演「この冬を乗り越える-新型コロナ・インフル・風邪対策」 池原 弘展 准教授 ② 健康チェック (体力測定) ③健康相談

注：第3回は大学祭と同日開催を計画

2) 看護大学健康講座まとめ

昨年度までは表Ⅱ-6のとおり、看護大学健康講座は計画通り開催することができていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で1回も開催できませんでした。

次年度は、今年度と同程度の開催を検討していますが、新型コロナウイルス感染症の流行状況により集合での開催は難しいかもしれません。可能な限り開催できるように、方法について検討していきます。加えて、学生が学びの場としてこの講座を活用できるよう検討を重ねていきたいと思います。

表Ⅱ-6 看護大学健康講座(看護大学喫茶)参加者数の推移

年度	2015*	2016*	2017*	2018	2019	2020
回数・参加者数	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)	(R2)
開催回数	2	3	4	3	3	0
参加者数	79	133	177	76	168	0

*2017年度までは「看護大学喫茶」として開催

3. 出張講演

出張講座として、住民の皆さまや専門職の方を対象とした教養講座と健康講座を開設しています。教員のそれぞれの知識と知恵を活かした講座テーマのパンフレットを作成し、その中から聞いてみたいと思う内容があれば、クラブ、サークル、会社等のグループ単位で申し込んでいただき、日時、場所等を調整したうえで実施しています。パンフレットは3年毎に更新することになっており、今年度、新たなバージョンを作成しました。講演テーマの一覧は、次頁をご参照ください。令和2年度出張講演実施状況を表Ⅱ-7に、出張講演参加状況の推移を表Ⅱ-8に示しました。

表Ⅱ-7 令和2年度出張講演実施状況

No	実施日	対象団体	講演テーマ	講師	実施場所	受講人数
1	6月18日	原子力安全システム研究所	働く人のためのメンタルヘルス	長井麻希江 教授	(株)原子力安全システム研究所	51
2	8月23日	美浜町太田区	手指衛生	伊部重希 准教授	美浜町太田区生活改善センター	35
3	11月26日	第二早翠幼稚園	保育士のメンタルヘルスケアについて	石橋佐枝子 講師	第二早翠幼稚園	23
4	12月5日	つるが男女共同参画ネットワーク	冬場の健康～風邪・インフルエンザの予防	池原弘展 准教授	敦賀市立看護大学	27
5	12月7日	新和さみどり保育園	働く人のストレスとの上手なつきあい方	長井麻希江 教授	新和さみどり保育園	17
6	1月15日	敦賀市消費生活センター	“いきいき100歳体操”で筋力アップ	横山浩誉 講師	敦賀市立図書館	15
7	2月10日	さみどり保育園	働く人のストレスとの上手なつきあい方	長井麻希江 教授	さみどり保育園	15
8	3月17日	東浦元気づくり会	転ばないための足の健康づくり	北村隆子 教授	東浦公民館	8

表Ⅱ-8 出張講演参加状況の推移

年度	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
回数・参加者数						
開催回数	17	13	6	8	8	8
参加者数	739	593	316	291	293	191



II. 健康分野

妊娠・出産・子育て支援

- お腹の赤ちゃんからのメッセージ
- バビになる前に知っておきたい子育て知識
- 初めて妊娠に向けての身体と心の準備
- 上手にお産するための日常生活の過ごし方
- 母乳のはなし ● 新生児期の健康管理

- 思春期における反抗
- 子どもがかかりやすい病気と対処方法
- 子どもが検査や処置を受ける前に知っておきたいこと
- 子どもを育む社会のしくみ
- 子どもの虐待

療養者の生活を快適にするための支援

- 入院時から始まる退院への備え ● せん妄とその予防
- 手術を受ける前に知っておきたいこと
- 麻酔のあれこれ

- 発達障害をもつ人との関わり方

- 床ずれを作らないために ● 楽な移動助助を考える
- 「最期までおうちで過ごす」を支えるしくみ
- 病気になっても自分らしく生きたい!
～在宅サービス、どのように使いますか?～

健康の保持・増進

- 女性のライフサイクルと健康
- 更年期について
- 笑い与健康
- 心の健康づくり
- 知っておきましょう、健康食品のこと
- モノを減らし、体ヘルシー
- 色のパワーを日常生活に取り入れよう
- 手指消毒における精油の抗菌作用と保湿効果
- フットサルで気分も体もリフレッシュ!!

- 冬場の健康…風邪・インフルエンザの予防
- 夏場の健康…熱中症の予防
- アレルギー（アナフィラキシー）について
- 脳卒中の予防
- 急性心筋梗塞の予防
- 糖尿病の予防
- メタボリックシンドロームにならない工夫
- がんと生活習慣

健康長寿のための介護予防

- 今日からあなたも担い手
～認知症予防につながる地域づくり～
- 認知症との上手なつきあい方
- 認知症になりにくいライフスタイル

- 作ってみよう！地域で安心して暮らすための人生マイプラン
- 介護を“悔選”にしないため今からできること
- 自分の介護に備えよう

- 転ばない体づくりをめざして
- 在宅で行える簡単運動
- 「後ろ姿」を気にしていますか？
- 「足の生活習慣病」をご存知ですか？
- 加齢とともにふえる排泄の悩み

- 携帯電話やスマートフォンを用いた介護予防の実践
- 明るく楽しくの、その前にレクリエーションで気をつけたいこと、必要なこと

III. 救急・災害分野

救急時の対応

- 心肺蘇生法（子どもから大人まで）
- 身近な応急手当
- いざという時の応急処置
- 救急車が来るまでの応急処置
- あわてる病気、あわてなくてもいい病気

災害時の対応

- 避難所での感染予防
- 避難所での健康づくり
- ところとからだを守る災害への備え

I. 一般教養分野

健康基礎

〔からだのしくみ〕

- からのリズムと健康
- 睡眠のリズム

〔栄養とくすり〕

- 栄養の常識・非常識
- 自分のくすり、ちゃんとわかっていますか？

〔メンタルヘルス〕

- 働く人のストレスとの上手なつきあい方
- 心に不調を抱える人への相談支援

英語教育

- 英語コミュニケーション能力を高めるための学習法

- 英語コミュニケーション能力を養成するための効果的な指導法

情報・経済

- 情報社会の移り変わり
～情報とうまく付き合っていきましょう～


- 比較市場（いちば）史
ヨーロッパと比較した日本の市場の歴史

- ロビンソン・クルーソー物語
ロビンソン・クルーソー物語をめぐる産業革命史像の展開

Ⅲ. 研究

1. 研究報告会

看護や地域医療保健福祉の質の向上を目指すことを目的として、第4回敦賀市立看護大学研究報告会を令和2年10月1日に開催する予定でした。新型コロナウイルス感染症の予防対策としてWeb開催も視野に入れて企画し、下記のようにチラシ配布やポスター掲示で周知を行い、演題募集を始めました。しかし、新型コロナウイルス感染症流行の関係で8月に中止となりました。次年度に向けて、感染防止対策を図りながら開催できる方向で検討していきます。



第4回 敦賀市立看護大学研究報告会

演題募集のご案内

敦賀市立看護大学は、看護や地域医療保健福祉の質の向上を目指して、研究報告会を開催いたします。皆さまの積極的な申し込みをお待ちしています。

- 内 容 口頭による研究成果・実践報告
 ※ 既に学会や院内で発表された研究の報告も歓迎いたします。
 ※ 1演題につき、発表7分、質疑応答3分程度を目安とします
 ※ 一般の方も参加されますので、未発表の演題等についてはご注意ください。

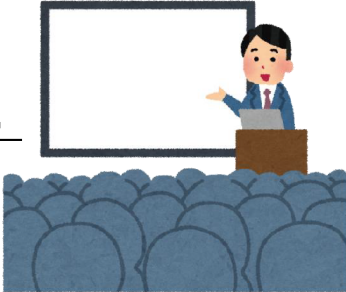
- 開催日時 令和2年10月1日（木） 14：00～17：00

- 発表場所 敦賀市立看護大学 2階大教室
 敦賀市木崎78号2番地の1
 注）新型コロナの状況により、Web開催又は中止になることがあります。

- 参加費 無料

- 演題申込締切 令和2年8月31日（月）

- 演題申込方法
 演題名、演者名、所属を下記の
 メールアドレスへご連絡ください。



【演題申込先・お問い合わせ先】
敦賀市立看護大学 Tel 0770-20-5500（代）
mail hokoku@tsuruga-nu.ac.jp

2. 敦賀市民の健康に関する情報収集

敦賀市の健康課題を把握することを目的に、昨年度、地域・在宅ケア研究センター事業として敦賀市民に実施した調査結果を基に、今年度はさらに情報収集を行う予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の関係で事業の中止が相次ぎ、参加者からのアンケート調査を実施することができませんでした。

今後はさらに調査研究結果を参考にしながら、敦賀市の健康課題を明らかにしていきたいと考えています。

昨年度の敦賀市との意見交換では、敦賀市が抱えている課題として以下の3点が挙げられました。

- ① 健康に関する知識の普及、啓発に取り組んでいるが、継続的な住民の主体的な実践に繋がらない。
- ② 健康無関心層に関心を持ってもらうための工夫が必要
- ③ 健康づくりを地域で担うリーダーの養成が必要

これらの課題についても具体的な方法を検討していきたいと考えています。

IV. 地域活動

1. 敦賀市への事業協力

敦賀市では、平成28年度から介護予防事業として「男性のための元気づくり道場」(全5回)、「女性のための元気づくりスクール」(全5回)が実施されています。

令和2年度は、それらのうち各1回(計2回)の講義依頼に協力しました。
内容は以下の通りです。

1) 「男性のための元気づくり道場」

- (1)実施日 令和2年11月10日(火)
- (2)テーマ 「生活習慣病を予防しよう。介護予防って何？」
- (3)講師 北村 隆子 教授
- (4)参加者 12人
- (5)参加者の感想 講演を聞いて足の運動をしている。足の力は大事だと思う。
自分なりに運動をしていたが初体験のことも多く、勉強になった。
生活習慣病についてなど再認識できたなど。

2) 「女性のための元気づくりスクール」

- (1)実施日 令和2年11月5日(木)
- (2)テーマ 「介護予防の知識とロコモティブシンドローム・フレイル予防」について
- (3)講師 鈴木 隆史 講師
- (4)参加者 9人
- (5)参加者の感想 食事には気を付けているがよりよく考えるようになった。
運動を記録して毎日することがよく分かったなど。



写真(左) 男性のための元気づくり道場の講義風景

(右) 女性のための元気づくりスクールの講義風景

受講者相互の間隔を開ける等、感染防止対策をとりながら講義を実施しました。

(写真は敦賀市長寿健康課より提供いただきました)

2. 美浜町への事業協力

令和2年10月4日に、美浜町郷市区「集落元気プラン」策定のためのワークショップに本学教員1人および学生2名が参加しました。「地域診断法ワークショップ」では、住民が地域の魅力を発見する一助となるように、グループワークに参加した後に一緒に地域を歩き、ディスカッションしました。



3. ボランティア等への参加

ボランティア等への参加状況及び年次推移をIV-1、表IV-2に示しました。

表IV-1 令和2年度ボランティア等参加実績

No	実施日	イベント名	依頼者	場所	内容	参加人数
1	11月9日	第6回敦賀市総合計画審議会	敦賀市	敦賀市消防庁舎	新規事業提案や既存事業の見直し・拡大に関する審議	学生2名
2	12月5,12日	敦賀ネットモールにおける学生モニター	敦賀市	市内商業施設	市内商業施設の情報発信	学生3名



表IV-2 ボランティア等への参加状況の推移

	2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (R1)		2020 (R2)	
	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数
学生	9	40	10	59	8	163	7	66	2	5
教職員	3	7	1	7	1	6	1	6	0	0

4. 地域行事等への参加状況

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地域行事が中止になったため、学生・教職員の参加はありませんでした。

表IV-3 に年次推移を示しました。

表IV-3 地域行事等への参加状況の推移

	2016 (H28)		2017 (H29)		2018 (H30)		2019 (R1)		2020 (R2)	
	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数	件数	延べ 人数
学生	9	61	7	144	4	21	4	21	0	0
教職員	7	10	4	5	2	3	2	3	0	0

資料 1

看護研究方法論講座 実施要領

敦賀市立看護大学 地域・在宅ケア研究センター

1. 目的

- 1) 臨床現場における看護研究の推進をはかり、科学的思考の基で看護ケアが創造できる能力を身に付けることを目指します。
- 2) 看護研究の成果を当該施設内外で発表することにより、看護を探究する姿勢を高めることを目指します。
- 3) 研究発表を通して、それぞれの施設の研究課題や看護活動を相互に理解することを目指します。
- 4) 大学と当該施設の良好な関係を構築し、当該施設における医療・看護が円滑に行えることを目指します。

2. 対象者

対象者は、敦賀市、美浜町及び嶺南地域の医療・看護・保健・介護関係施設に勤務する看護職者とします。

受け入れ可能な研究指導件数は、個人・グループ等で 20 件程度とします。

3. 研究の進め方

- 1) 大学において看護研究方法の講義・演習を行います。
日時・内容の詳細は別途定めます。
- 2) 本学教員による研究の個人又はグループで指導を希望する方は、研究テーマを決定し、4 月末日までに研究指導申込書を用いて本学に提出して下さい。なお、研究テーマ決定にあたっては相談にも応じます。
- 3) 研究テーマに合わせて担当教員を決定します。
- 4) 担当教員決定後は、原則として共同研究者（本学の倫理審査を受ける権利の保証）として研究をすすめていただきます。
- 5) 研究発表会や学会、論文等で発表していただけることを期待しています。

平成 30 年 12 月改定

資料 2

敦賀市立看護大学研究報告会 実施要項

1. 目的

研究成果や実践活動を通して、看護や地域医療保健福祉の質の向上に資することを目的とする。

2. 対象者

- 1) 敦賀市及び美浜町の医療・看護・保健・福祉施設等に勤務する者
- 2) 一般市民など

3. 実施方法

- 1) 演題は医療・看護・保健・福祉等に携わる者から公募する。
- 2) 本学の教員は、原則として過去1年間に発表した研究成果を報告する。
- 3) 研究成果や実践内容を口頭発表する。
- 4) 開催は年1回とし、開催時期は秋季とする。
- 5) 報告会の世話人は大学教員が担当する。

令和2年度地域・在宅ケア研究センター運営会議 構成員

(○センター長、五十音順)

鈴木隆史、中堀伸枝、○畑野相子、前川直美、八木祥絵（事務局）、家根明子

令和2年度 地域・在宅ケア研究センター活動報告書

令和3年3月31日発行

編集発行 敦賀市立看護大学

〒914-0814 福井県敦賀市木崎 78-2-1 TEL:0770-20-5500
